



2023年9月26日

各 位

会社名 株式会社 オートサーバー
代表者名 代表取締役社長 高田 典明
(コード番号：5589 東証スタンダード・名証メイン)
問合せ先 常務取締役 山本 林
電話番号 (TEL. 03-6842-8534)

東京証券取引所スタンダード市場及び名古屋証券取引所メイン市場への
上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、2023年9月26日に、東京証券取引所スタンダード市場及び名古屋証券取引所メイン市場に上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、2023年12月期（2023年1月1日から2023年12月31日）における当社の業績予想は、次のとおりであり、また、最近の決算情報等につきましては、別添のとおりであります。

【個別】

(単位：百万円、%)

	2023年12月期 (予想)			2023年12月期 第2四半期累計期間 (実績)		2022年12月期 (実績)	
		対売上高 比率	対前期増 減率		対売上高 比率		対売上高 比率
売上高	5,200	100.0	△3.1	2,899	100.0	5,364	100.0
営業利益	1,807	34.7	△8.7	1,071	37.0	1,979	36.9
経常利益	1,804	34.7	△8.4	1,066	36.8	1,969	36.7
当期(四半期) 純利益	1,116	21.5	△7.5	657	22.7	1,207	22.5
1株当たり 当期(四半期) 純利益	171円62銭			102円69銭		188円66銭	
(参考)調整後経常利益	2,040	39.2	△7.5	1,184	40.9	2,205	41.1
(参考)調整後当期(四半期)純利益	1,352	26.0	△6.3	775	26.7	1,443	26.9
1株当たり 配当金	50円00銭 +5円00銭(上場記念配)			—		1,100円00銭 (55円00銭)	

(注) 1 当社は連結財務諸表及び四半期連結財務諸表を作成していません。

- 2 2023年12月期（予想）の1株当たり当期純利益は、公募株式数（400,000株）を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しております。なお、当該株式数にはオーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資分（300,000株）は含まれておりません。
- 3 当社は、2023年3月3日付で普通株式1株に対し20株の割合で株式分割を行っております。上記では2023年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算出しております。また、2022年12月期（実績）の1株当たり配当金については、当該株式分割を考慮した数値を（）内に記載しております。
- 4 当社は2016年に実施したマネジメント・バイアウト時に認識したのれんを20年間の定額法により償却しております。調整後経常利益及び調整後当期（四半期）純利益は、当該償却に係るのれんの償却費の影響を除外しており、投資家が当社の業績を評価するために有用であると考えられる財務指標であります。算出方法については以下【調整後経常利益及び調整後当期（四半期）純利益の調整表】をご参照ください。

【調整後経常利益及び調整後当期（四半期）純利益の調整表】

（単位：百万円）

	2023年12月期 （予想）	2023年12月期 第2四半期累計期間 （実績）	2022年12月期 （実績）
経常利益	1,804	1,066	1,969
＋のれん償却額	236	118	236
調整後経常利益（注）1	2,040	1,184	2,205
当期（四半期）純利益	1,116	657	1,207
＋のれん償却額	236	118	236
調整後当期（四半期）純利益（注）2	1,352	775	1,443

（注）1 調整後経常利益＝経常利益＋のれん償却額

2 調整後当期（四半期）純利益＝当期（四半期）純利益＋のれん償却額

【2023 年 12 月期業績予想の前提条件】

1. 当社全体の見通し

当社は、中古車取扱事業者がインターネット上で中古車を売買することのできる会員制サービスプラットフォーム「ASNET」を運営する事業を営んでおります。

ASNET 事業は、インターネット上で、ASNET の会員である中古車取扱事業者が国内で中古車を出品・落札することを代行又は仲介するサービスを提供しており、当社の属する業界の市場規模及び市況は、中古車全体の流通数及び中古車売買におけるインターネットを介した取引動向によって左右されます。

2022 年 12 月期における日本経済は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進む中で、緩やかな持ち直しの動きがみられました。その一方で、世界的なエネルギー・食料価格の高騰や欧米各国の金融引き締め等による世界的な景気後退懸念が高まる等、日本経済を取り巻く環境には厳しさが増す状況となりました。

当社をとりまく経営環境としては、我が国の中古車業界について、世界的なコロナ禍、半導体不足や部品供給不足等の供給制約を受けた自動車の生産調整が影響し、中古車販売台数においても新車販売台数に連動する形で減少したものと考えられます。これらの結果、(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会の発表統計によりますと、登録車及び軽自動車の新車販売台数合計は前年同期比 5.6%減の 420 万台、軽自動車を含む中古自動車登録(届出)台数も前年同期比 6.4%減の 630 万台となり、2022 年 12 月期はいずれも前年を大幅に下回る水準で推移しました。一方で、(一財)自動車検査登録情報協会によりますと、2023 年 1 月末時点で軽自動車を含む自動車保有台数は、8,282 万台(前年同期比 25.8 万台増)と引き続き増加傾向で推移しています。

また、新車の供給不足等により中古車の需要は高まっておりますが、供給量の減少に伴って流通量の減少及び価格の高騰傾向が見られます。しかし、インターネットを介した中古車流通については、オートオークション会場外からインターネットを介して取引に参加するためのシステム整備が進んでおり、主要オートオークションにおける会場外からの取引参加率は概ね 50~60%に達する等、そのニーズは今後も堅調に推移するものと見込んでいることに加え、インターネットでの取引がベースとなっている業者間取引の拡大により、当社 ASNET 事業の属するインターネットを介した中古車流通市場の需要は拡大する見込みです。

このような環境の中、2023 年度におきましては、1 月から 6 月の新車販売台数が前年同期比 17.5%増の 245 万台となったものの、中古自動車登録(届出)台数は前年同期比 0.3%増の 334 万台と前年と同水準となっており、今後の動向については引き続き注視が必要と思われます。当社においては引き続き ASNET 会員数(法人・個人を合わせた拠点数)の拡大及び ASNET 取引台数の拡大を図っており、2023 年 6 月末の ASNET 会員数は 76,018 (2022 年 12 月末比 1,267 増)となり、2023 年 6 月末時点の ASNET 取引台数は、115,988 台(2022 年 6 月末比 640 台増)となっています。ただし、前述の通り中古車登録台数は新車販売台数ほどには増加していないことから、今後の動向については引き続き注視が必要と思われます。

これらを踏まえた結果、2023 年 12 月期につきましては、売上高 5,200 百万円(前期比 3.1%減)、営業利益 1,807 百万円(前期比 8.7%減)、経常利益 1,804 百万円(前期比 8.4%減)、当期純利益 1,116 百万円(前期比 7.5%減)を見込んでおります。

2. 業績予想の前提条件

(1) 売上高

当社の事業は、ASNET 運営事業の単一セグメントでありますので、提供するサービスの種類別という観点から、当社の主たるサービスであり、当社の売上高の 93.4%（2022 年 12 月期）を占めるオークション代行サービスと業者間中古車売買仲介（以下「AS ワンプラ」といいます。）サービスに区分して説明いたします。

なお前述の通り、当社の売上高の 93.4%はオークション代行サービス及び AS ワンプラサービスに係るものであり、当該サービスの売上高は ASNET 会員による車両の売買の都度、当社が受領する取引手数料（一部の例外を除き車両取引価格に関わらず一定額）によって構成されておりますが、業績予想においては、見込みの取引台数に手数料単価を乗じて算出しております。うち手数料単価については、ASNET 利用規約に定めており、取引サービス毎もしくは提携オークション会場毎に異なる額を定めておりますが、取引がどのサービス及びオークション会場で行われるかを見通すことは困難であることから、サービス毎の前事業年度の平均単価を用いて算出しております。

①オークション代行サービス

当サービスは、国内 141（2022 年 12 月末現在、サテライト会場含む）のオークション会場の運営事業者と業務提携契約を結び、ASNET を通じて提携先オートオークションに参加する事を可能とするサービスです。具体的なサービス内容として、落札を代行する「AA 入札」「AS リアル」及び「AA ワンプラ」と、出品を代行する「AA 代行出品」を提供しております。当社は ASNET 会員より、サービス利用の都度、落札手数料や成約手数料等を受領しております。

2023 年 12 月期においては、まず、取引データの整備を行った 2016 年 12 月期から前事業年度までの実績に基づき、当事業年度に ASNET への加入を見込む会員様による取引台数の平均値（前事業年度における外部環境の変動による業績変動を加味しております）の台数を算出しております。次に、既存の ASNET 会員様による取引台数の平均値（前事業年度における外部環境の変動による業績変動を加味しております）の台数を算出し、前述の台数と合算して通期の計画取引台数を算出しております。期初時点においては、新車供給不足等による中古車流通への影響が残るものの、年度下期にかけて影響は徐々に解消すると見込んでいたことから、取引台数として 128,003 台（前期比 3,771 台減）を計画しております。

2023 年 6 月末時点における取引台数は 75,786 台（前年同月累計比 4,830 台増）となっておりますが、今後の中古車流通状況の動向を見通すことは困難であることから、年度累計取引台数は期初時点と同様の 128,003 台（前期比 3,771 台減）を見込んでいます。

その結果、オークション代行サービスの売上高は 2,422 百万円（前期比 2.9%減）を見込んでおります。

②AS ワンプラサービス

当サービスは、店頭在庫車両を持つ ASNET 会員より、業販価格を付した車両情報を ASNET へ掲載していただき、車両を落札したい ASNET 会員との売買を当社が仲介するサービスです。当サービスでは、出品車両情報の掲載時点では手数料は不要とし、売買が成立した際に、ASNET 会員である売り手及び買い手の双方から、または買い手からのみ（注）手数料を受領しております。

2023 年 12 月期においては、オークション代行サービスにおける算出方法と同様の方法により通期の計画取引台数を算出しております。期初時点においては、新車供給不足等による中古車流通への影響が残るものの、年度下期にかけて影響は徐々に回復すると見込んでいたことから、取引台数として 82,267 台（前期比 3,641 台減）を計画しております。

2023 年 6 月末時点における取引台数は 40,202 台（前年同月累計比 4,190 台減）となっており、今後の中古車流通状況の動向を見通すことは困難であるものの、年度累計取引台数は期初時点と同様の 82,267 台（前期比 3,641 台減）を見込んでいます。

その結果、AS ワンプラサービスの売上高は 2,433 百万円（前期比 3.3%減）を見込んでおります。

以上により、売上高は 5,200 百万円（前期比 3.1%減）を見込んでおります。

注 当社は、AS ワンプラサービスにおいて、当社と同種のサービスを行っている他社と業務提携契約を締結し、これら他社から当該他社の利用者が掲載した中古車の出品情報を受信し、これを ASNET へ掲載しております。ASNET 会員が当該車両を落札した場合、当社は買い手からのみ手数料を受領することとなります。

(2) 売上原価、売上総利益（オークション代行サービス及び AS ワンプラサービス）

当社の売上原価は、主にオークション代行サービスに係る手数料により構成されています。

昨今の物価、燃料費高騰等により、各オークション会場における手数料改定が行われており、オークション代行サービスにおける取引 1 台毎の売上原価は上昇するものの、(1) 売上高①オークション代行サービスで述べた通り前事業年度に対し取引台数の減少を見込んでいることから、売上原価は 1,383 百万円（前期比 4.5%減）を見込んでおります。

その結果、売上総利益は 3,817 百万円（前期比 2.5%減）を見込んでおります。

(3) 販売費及び一般管理費、営業利益

当社の販売費及び一般管理費は、人件費、のれんや顧客関連資産、ソフトウェア等の償却費、委託作業費その他経費で構成されています。

人件費は、人員計画に基づき、人員数、定期昇給等を考慮のうえ算定しております。大幅な人員増は計画しておりませんが、事業部門、システム部門の人員補強、年齢構成の適正化のための新卒採用を見込み、1,003 百万円（前期比 5.7%増）を見込んでいます。

のれんや顧客関連資産、ソフトウェア等の償却費は、ソフトウェア開発計画等に基づき算定しております。システム開発に伴う減価償却費増加を見込む一方で、今期中に顧客関連資産の償却が終了することから、391 百万円（前期比 3.1%減）を見込んでいます。

委託作業費は、計画取引台数等に基づき算出しております。代理店マージンを伴う落札件数減少を見込み、143 百万円（前期比 3.3%減）を見込んでいます。

以上により、販売費及び一般管理費は 2,010 百万円（前期比 3.8%増）、営業利益は 1,807 百万円（前期比 8.7%減）を見込んでおります。

(4) 営業外収益・費用、経常利益

営業外収益については当社が提携する中古車オークション会場の取引規約と ASNET 会員との間で適用する ASNET 利用規約との差に起因して発生するペナルティ代金の受払いの差額等として 14 百万円を見込み、営業外費用については支払利息等として 16 百万円を見込んでおります。

以上により、経常利益は 1,804 百万円（前期比 8.4%減）を見込んでおります。

(5) 特別利益・損失、当期純利益

特別利益及び特別損失は見込んでおりません。

以上により、当期純利益は 1,116 百万円（前期比 7.5%減）となる見込みであります。

【業績予想に関するご留意事項】

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合がございます。

以上



2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年9月26日

上場会社名 株式会社オートサーパー 上場取引所 東・名
 コード番号 5589 URL http://www.autoserver.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)高田 典明
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理本部長 (氏名)山本 林 (TEL)03-6842-8534
 四半期報告書提出予定日 — 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の業績(2023年1月1日~2023年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	2,899	—	1,071	—	1,066	—	657	—
2022年12月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	102.69	—
2022年12月期第2四半期	—	—

- (注) 1. 2023年12月期第1四半期より四半期財務諸表を作成しているため、2022年12月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2023年12月期第2四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため、記載しておりません。
3. 当社は、2023年3月3日付けで普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っております。当事業年度期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	17,441	9,046	51.9
2022年12月期	14,312	8,741	61.1

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 9,046百万円 2022年12月期 8,741百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	1,100.00	1,100.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	55.00	55.00

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
2. 当社は、2023年3月3日付けで普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っております。2022年12月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。なお、株式分割を考慮した場合の2022年12月期の年間配当金は55.00円となります。2023年12月期(予想)については、株式分割後の内容を記載しております。

3. 2023年12月期の業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,200	△3.1	1,807	△8.7	1,804	△8.4	1,116	△7.5	171.62

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年12月期 2 Q	6,400,000株	2022年12月期	6,400,000株
2023年12月期 2 Q	一株	2022年12月期	一株
2023年12月期 2 Q	6,400,000株	2022年12月期 2 Q	一株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

（注）当社は、2023年3月3日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っております。当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」および「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	2
（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
（1）四半期貸借対照表	4
（2）四半期損益計算書	6
（3）四半期キャッシュ・フロー計算書	7
（4）四半期財務諸表に関する注記事項	8
（継続企業の前提に関する注記）	8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	8
（重要な後発事象）	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における日本経済は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進む中で、緩やかな持ち直しの動きが見られました。その一方で、世界的なエネルギー・食料価格の高騰や欧米各国の金融引き締め等による世界的な景気後退懸念が高まる等、日本経済を取り巻く環境には厳しさが増す状況となりました。

当社をとりまく経営環境としては、2023年1月から2023年6月の（一社）日本自動車販売協会連合会、（一社）全国軽自動車協会連合会の発表統計による登録車及び軽自動車の新車販売台数合計は前年同期比17.5%増の245万台となったものの、軽自動車を含む中古自動車登録（届出）台数は前年同期比0.3%増の334万台と前年と同水準となっており、今後の動向については引き続き注視が必要と思われます。当社においては2023年度におきましても引き続きASNET会員数（法人・個人を合わせた拠点数）の拡大及びASNET取引台数の拡大を図っており、2023年6月末のASNET会員数は76,018（2022年12月末比1,267増）となり、2023年6月末時点のASNET取引台数は、115,988台となっています。ただし、前述の通り中古車登録台数は新車販売台数ほどには増加していないことから、今後の動向については引き続き注視が必要と思われます。

これらを踏まえた結果、当第2四半期累計期間の業績につきましては、売上高は2,899,550千円、経常利益は1,066,612千円、四半期純利益は657,243千円となりました。

なお、当社はASNET運営事業のみの単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

（2）財政状態に関する説明

①財政状態

（資産）

当第2四半期会計期間末における総資産は17,441,168千円となり、前事業年度末に比べ3,129,052千円増加しました。これは主に現金預金が営業活動の結果等により1,407,825千円、事業年度末は年末年始長期休暇に伴う稼働日数減少等により取引台数が減少することから未収入金が1,770,759千円増加した一方で、のれんが償却により118,157千円減少したことによります。

（負債）

当第2四半期会計期間末における負債は8,394,436千円となり、前事業年度末に比べ2,823,808千円増加しました。これは主に事業年度末は年末年始長期休暇に伴う稼働日数減少等により取引台数が減少することから未払金が2,437,118千円、前事業年度利益が前々事業年度に比べて減少したことにより未払法人税等が76,424千円増加したことによります。

（純資産）

当第2四半期会計期間末における純資産は9,046,732千円となり、前事業年度末に比べ305,243千円増加しました。これは主に四半期純利益が657,243千円であった一方で、配当金の支払いにより352,000千円減少したことによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、10,992,626千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における営業活動による資金の増加は1,841,811千円となりました。これは主に税引前四半期純利益が1,067,107千円、減価償却費が57,342千円、のれん償却額が118,157千円、顧客関連資産償却額が30,571千円、未払金の増加額が2,441,460千円、預り金の増加額が264,925千円あった一方で、未収入金の増加額が1,770,743千円、法人税等の支払額が353,810千円あったことによります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における投資活動による資金の減少は81,967千円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が31,493千円及び無形固定資産の取得による支出が51,507千円あったことによります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における財務活動による資金の減少は352,157千円となりました。これは主に配当金の支払額が352,000千円あったことによります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の業績予想につきましては、2023年9月26日の「東京証券取引所スタンダード市場及び名古屋証券取引所メイン市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」をご参照ください。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社は現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,584,800	10,992,626
売掛金	48,444	100,082
貯蔵品	867	2,180
未収入金	739,086	2,509,845
その他	42,262	42,176
貸倒引当金	△11,857	△10,995
流動資産合計	10,403,604	13,635,916
固定資産		
有形固定資産	341,849	347,908
無形固定資産		
のれん	3,190,251	3,072,094
顧客関連資産	30,571	-
その他	224,326	242,818
無形固定資産合計	3,445,149	3,314,912
投資その他の資産	121,513	142,431
固定資産合計	3,908,511	3,805,252
資産合計	14,312,116	17,441,168

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,745	34,042
短期借入金	3,200,000	3,200,000
未払金	1,332,100	3,769,219
未払法人税等	353,810	430,235
その他	491,808	760,085
流動負債合計	5,387,464	8,193,582
固定負債		
退職給付引当金	85,939	89,212
役員退職慰労引当金	22,650	37,750
資産除去債務	16,440	16,465
その他	58,133	57,426
固定負債合計	183,162	200,854
負債合計	5,570,627	8,394,436
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,100,000	3,100,000
利益剰余金	5,541,488	5,846,732
株主資本合計	8,741,488	9,046,732
純資産合計	8,741,488	9,046,732
負債純資産合計	14,312,116	17,441,168

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	2,899,550
売上原価	858,820
売上総利益	2,040,729
販売費及び一般管理費	968,902
営業利益	1,071,826
営業外収益	
違約金収入	3,123
その他	395
営業外収益合計	3,518
営業外費用	
支払利息	8,148
その他	584
営業外費用合計	8,732
経常利益	1,066,612
特別利益	
固定資産売却益	507
特別利益合計	507
特別損失	
固定資産除却損	12
特別損失合計	12
税引前四半期純利益	1,067,107
法人税、住民税及び事業税	430,235
法人税等調整額	△20,371
法人税等合計	409,863
四半期純利益	657,243

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	1,067,107
減価償却費	57,342
のれん償却額	118,157
顧客関連資産償却額	30,571
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△862
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3,273
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	15,100
支払利息	8,148
固定資産売却損益(△は益)	△507
固定資産除却損	12
売上債権の増減額(△は増加)	△51,637
未収入金の増減額(△は増加)	△1,770,743
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,312
仕入債務の増減額(△は減少)	24,297
預り金の増減額(△は減少)	264,925
未払金の増減額(△は減少)	2,441,460
未払費用の増減額(△は減少)	△15,485
その他	13,853
小計	2,203,701
利息及び配当金の受取額	44
利息の支払額	△8,124
法人税等の支払額	△353,810
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,841,811
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△31,493
有形固定資産の売却による収入	938
無形固定資産の取得による支出	△51,507
敷金及び保証金の回収による収入	111
その他	△16
投資活動によるキャッシュ・フロー	△81,967
財務活動によるキャッシュ・フロー	
リース債務の返済による支出	△157
配当金の支払額	△352,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△352,157
現金及び現金同等物に係る換算差額	139
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,407,825
現金及び現金同等物の期首残高	9,584,800
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,992,626

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(一般募集による新株式の発行)

当社は、2023年9月26日付で東京証券取引所スタンダード市場及び名古屋証券取引所メイン市場に株式を上場いたしました。上場にあたり、2023年8月22日及び2023年9月5日開催の取締役会において、以下のとおり、公募による新株式発行を行うことを決議し、2023年9月25日に払込が完了いたしました。

① 募集方法	: 一般募集 (ブックビルディング方式による募集)
② 発行する株式の種類及び数	: 普通株式 400,000株
③ 発行価格	: 1株につき 2,670円
④ 引受価額	: 1株につき 2,456.40円
⑤ 資本組入額	: 1株につき 1,228.20円
⑥ 発行価格の総額	: 1,068,000,000円
⑦ 引受価額の総額	: 982,560,000円
⑧ 増加した資本金及び資本準備金に関する事項	: 増加した資本金の額 491,280,000円 : 増加した資本準備金の額 491,280,000円
⑨ 申込期間	: 2023年9月15日から2023年9月21日
⑩ 払込期日	: 2023年9月25日
⑪ 株式受渡期日	: 2023年9月26日
⑫ 資金の使途	: ASNETの機能拡張や取引処理システムの開発等の設備投資、その他(運転資金、短期借入金の返済等)に充当予定。

(第三者割当増資による新株式の発行)

当社は、2023年8月22日及び2023年9月5日開催の取締役会において、以下のとおり、オーバーアロットメントによる売出しに関連して、第三者割当増資による新株式の発行を決議しました。

① 募集方法	: 第三者割当 (オーバーアロットメントによる売出し)
② 発行する株式の種類及び数	: 普通株式 300,000株
③ 割当価格	: 1株につき 2,456.40円
④ 資本組入額	: 1株につき 1,228.20円
⑤ 割当価格の総額	: 736,920,000円
⑥ 増加する資本金及び資本準備金に関する事項	: 増加する資本金の額 368,460,000円 : 増加する資本準備金の額 368,460,000円
⑦ 払込期日	: 2023年10月25日
⑧ 資金の使途	: ASNETの機能拡張や取引処理システムの開発等の設備投資、その他(運転資金、短期借入金の返済等)に充当予定。

(注) オーバーアロットメントによる売出しは、上記の公募による新株式の発行に伴い、その需要状況を勘案し、株式会社SBI証券が行う売出しであります。したがって、オーバーアロットメントによる売出しに係る売出株式数は上限株式数を示したものであり、需要状況等により減少する場合、又はオーバーアロットメントによる売出しが全く行われない場合があります。